



東京学芸大学附属国際中等教育学校

令和5年度 授業研究会のご案内(第2次)

探究の問いが育む概念的理解

—IBの趣旨を活かした授業開発とその普及—

令和5(2023)年10月吉日

各位

東京学芸大学附属国際中等教育学校長 荻野 勉

今回のテーマ「探究の問いが育む概念的理解」が生徒の中で結実したとき、生徒たちはいったいどのような変容をするでしょう。社会課題を教科等横断的な視点から捉え、培ったスキルを思う存分に用いながらその解決へと導く—そんな頼もしい生徒の姿が見えてきませんか。本研究会では、そのような生徒を育てる授業の在り方について、皆さまと共に考えていきます。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

会場

東京学芸大学附属国際中等教育学校

後援

東京都教育委員会・練馬区教育委員会

11/22(水)

12:20 -



お申し込み

11/17(金)まで

当日参加も可能ですが、準備の関係上、Webサイトからの事前のお申込みにご協力ください

<https://forms.office.com/r/H2VjGYDBSe>

本研究会は教育関係者を対象としております
参加費は無料です



スケジュール

12:20 13:10 13:20 14:10 14:30 15:20 15:40 17:00 17:10 17:50

受付	公開授業①	公開授業②	授業協議会	SSH情報交換会
生徒課題研究 ポスター発表				

本校では隔年で公開研究会と授業研究会を交互に開催しています。今年度は授業研究会の年で、来年度の公開研究会における研究の方向性を模索しながら校内研究に取り組んでおります。本年度は、同一学年や同教科の研究グループで「探究の問い(Inquiry Question)」に焦点を当て、概念的理解を育む授業の在り方を検討しました。

公開授業・協議会

1年生
(中1)

健やかな生活を送るための判断力の育成

IBにはミッションステートメントやATLなど多くの理念がある。それらを基に生涯を通じ健やかな生活を送るために必要な判断力の育成について考える。

公開授業②

保健体育

<授業者> 谷口 善一・新川 夕貴

3年生
(中3)

概念「つながり」を活かした 教科等横断的授業

重要概念「つながり」を設定した教科等横断的な視点を取り入れ、保健での感染症の学びに音楽表現を活用して、人同士だけでなく環境などより広い世界との関わりについて探究する授業を行う。

公開授業②

音楽
保健体育

<授業者> 橋本 みゆき・飯田 光一郎

<協議会 助言者> 藤野 智子 准教授(東京学芸大学大学院教育学研究科)

4年生
(高1)

概念「システム」に基づき転移スキルを 育成する単元設計

本グループは高校1年生相当の授業を担当する異教科の教員で構成されている。概念「システム」に基づいた転移スキルの育成について、地理総合における授業実践をもとに議論を深める。

公開授業②

地理総合

<授業者> 中村 文宣

<協議会 助言者> 藤澤 誉文 教諭(高知県立高知国際中学校・高等学校)

5年生
(高2)

概念「関係性」による教科間連携の提案 ー「安全」は「安心」を作ることができるかー

生物では「安全」と「安心」の関係性について遺伝子組み換え技術を題材にして、科学だけでなく環境、経済、倫理など多角的な観点に基づき判断や議論を行う授業設計を目指す。

公開授業②

SS生物

<授業者> 伊藤 穂波

外国語科

新学習指導要領の理念とIBの概念学習を 両立する中学英語授業づくり

ー 令和のRakugoスタイル創作を通してー

英語版落語の物語を自由な形で表現する中で、「コミュニケーション」という概念、「物語を伝えるにはその目的・場面・状況を考え効果的な形を選択すべき」という探究テーマに向き合う。

公開授業①

英語
1年生(中1)

<授業者> 杉村 諒

数学科

「概念的理解」を志向する数学科授業の デザインと実践ー極限と微分積分の考えー

数学科では、概念的理解を志向するカリキュラムづくりと授業実践について継続的に研究している。SSH事業の成果を踏まえ、単元「極限と微分積分の考え」における概念的理解の形成を目指した授業を公開する。

公開授業①

SS数学Ⅱ
5年生(高2)

<授業者> 指田 昭樹

<協議会 助言者> 成田 慎之介 准教授(東京学芸大学大学院教育学研究科)

DP

TOKの問いが育む概念的理解

DPのコア科目TOK (Theory of Knowledge : 知の理論) では、知識の性質と知るプロセスを探究する。TOKの問いがどのように概念的な理解や転移を促進するのか、DP1年生と検討する。

公開授業①

*日本語での実施です。

公開授業②のみ
定員 24人
(事前申込制・先着順)

公開授業②

*公開授業②は参加型(定員制)になります。

5年生
(高2)

<授業者> 高松 美紀・ハモンド トロイ

<協議会 助言者> 松崎 秀彰 教諭(茗溪学園中学校高等学校)

国際教養

国際教養講座「国際理解」編の実践 ー 第5/6回「コバルト会議」ー

本校では2022年度にNPOと連携して「国際理解講座」を開発した。連続ワークショップを通して、重要概念「グローバルな相互作用」について理解を深めていく過程(5回・6回/全7回)を公開する。

公開授業①

公開授業②

2年生
(中2)

<授業者> 藤木 正史・山根 正博・廣瀬 充・小林 万純

生徒によるポスター発表



本校生徒による課題研究の成果をポスターのブースプレゼンテーションにより発表する。校内課題研究コンテスト (ISSチャレンジ) に参加する1年生から6年生までの取り組みについて、実社会の課題解決に向けて主体的に取り組む研究、SOCIAL CHANGEを目指した研究をはじめ、多様な視点からスタートした研究を、日本語または英語で発表する予定である。

SSH情報交換会



理数探究において、生徒はどのように「探究の問い」を自ら設定するのか、その過程で教員が行うべき手立てはどのようなものか。生徒の興味関心から始まった問いは、どのようにして研究の仮説となるのか、SOCIAL CHANGEの視点はどこからもたらされるのか、等についての検討を共有しながら議論する予定である。

Access

- ▶ 電車
西武池袋線「大泉学園駅」徒歩8分
- ▶ バス
西武バス・関東バス「学芸大附属前」

駐車スペースがありませんので、お車のご来校はご遠慮ください

Contact

東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究部

〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-22-1

☎ 03-5905-1326 FAX 03-5905-0317 ✉ kenkyu@tguiss.jp

https://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp